

(患者様用)

CT 検査を受けられる方

予約日時 : 月 日 () :

- (1) 造影剤使用により副作用がでることもありますので、前回造影剤を使用して副作用のあった方、アレルギー体質の方はあらかじめお申し出下さい。
- (2) きわめて稀ですが、造影剤使用后、体調不良になることがありますので、そのような場合には連絡をして下さい。
- (3) 造影剤を使用しない場合は食事制限はありません。ただし、腹部を検査する場合は(4)の造影検査と同じく食事をとらないで下さい。
- (4) 造影検査で、午前の方は朝食を、午後の方は昼食をとらないで下さい。200ml程度のお水、お茶は予約の1時間前までは飲んでもかまいません。
- (5) 検査は通常10分程度です。
- (6) 当日は脱ぎやすい服装で、金具のない下着を着用して下さい。
- (7) 緊急検査が入った場合、予約時間より遅れる場合もあります。
- (8) 検査予約日に来院出来ない時は、受診されている病(医)院までご連絡下さい。

検査当日は予約時間30分前にお越し下さい。

1. 1階 地域医療連携室にて受付登録をします。

保険証・紹介先で預かった書類をお出してください。

当院の診察券をお持ちの方はその際にお出してください。

2. 終了後 1階 放射線科受付までお越し下さい。

3. 検査室へご案内いたします。

JCHO 埼玉メディカルセンター 048-832-4951

(旧 埼玉社会保険病院)

造影CT検査依頼伝票

依頼施設名:

検査日: 年 月 日 () :

依頼医師名:

フリガナ				
氏名:				
生年月日:	昭和・平成	年	月	日 (年齢: 才)
性別:	男・女			(体重: kg)

※該当する項目に○をつけて下さい。

患者状態:	歩行	車椅子	ストレッチャー	ベット
既往歴:	ヨード系造影剤アレルギー		有	無 初回
	その他アレルギー		有	無
	喘息		有	無
	ペースメーカー		有	無
	血液感染症 (B型肝炎・C型肝炎・HIVなど)		有	無 不明
腎機能:	正常	異常	(透析中: 血液透析・腹膜透析)	
採血データ:	採血日(年 月 日)	クレアチニン値もしくはeGFR ()

※血液データは、過去6ヶ月以内。未記入またはeGFR<45の場合、原則造影検査が施行できません。

検査部位:	頭部	頸部	胸部	腹部(肝・胆・膵・腎)	骨盤
	その他()				

(診断情報提供書に記入していただければこの欄は空白で結構です。)

臨床診断と検査目的:

最近の画像データ(フィルム・CD)返却の有無: 有 無

お問い合わせ: JCHO埼玉メディカルセンター

TEL 048-832-4951(放射線科 内線1150)

改訂: 2017.8.15

(患者様用)

CT 検査におけるヨード造影剤使用に関する説明と同意書

埼玉メディカルセンター (旧 埼玉社会保険病院)

CT 検査は、X 線とコンピューターを使用して、体内の深部を観察するものです。CT 検査の約半数の例で、ヨード造影剤の静脈内投与を必要とする場合があります。ヨード造影剤は検査のための薬剤で、より詳しい画像情報を得るために投与されます。

ヨード造影剤は基本的には安全な薬剤といわれていますが、一定の頻度で下記のような副作用が生じることが知られていますので、ここに書かれている事項をよくお読みの上、ヨード造影剤の使用に同意頂けるようでしたら、署名をお願いします。同意頂けない場合でも造影剤を用いないで、可能な限り正確な診断となるような検査は施行致します。

なお、同意頂ける場合でも、病気の性質その他の医学的な理由のため、造影剤を用いない場合があることをご了承ください。また、喘息を有する場合や、以前にヨード造影剤で重篤な副作用があった場合は、原則として造影剤は使用しません。

1. 軽い副作用：悪心・嘔吐、熱感、じんま疹、かゆみ、くしゃみ

これらの副作用は、3.5%前後の頻度で起こりますが、通常に特に治療を必要とせず、検査当日でほぼ治まります。

2. 重篤な副作用：血圧低下(ショック)、息苦しさ、意識消失、腎不全、嘔声(喉頭浮腫)

発生する頻度は、0.004%(2.5万人に1人)とわずかですが、治療が必要で、さらに有害となる可能性もあります。そのような場合でも、当院では速やかな対応が可能な体制で検査を行っています。他の多くの薬剤と同様にごく稀に(0.00025%、つまり40万人に1人の頻度)死亡例の報告もありますが、当院では、今までにそのような事例はありません。

3. 遅発性副作用：頭痛、吐気、かゆみ、発疹

8%前後の方に検査後1時間から数日で発生することがあります。その際には検査医または主治医にお申し出てください。救急外来を受診することも可能です。

なお、造影剤の副作用以外にも、造影剤を血管内に注射する際に血管外に漏れることが0.3%程度(300人に1人)の頻度であり、注射した部位の腫れや痛みを伴うことがあります。通常は時間が経てば吸収されるので心配ありません。漏れた量が多い場合には、処置が必要となることもあります。

説明医師署名 _____

施設名 _____

上記事項を確認の上、ヨード造影剤使用の同意の有無をお答えください(○で囲んでください)。

ヨード造影剤使用に同意します。

はい

いいえ

平成 年 月 日

患者署名 _____ (本人・代理人)

(代理人の場合：患者氏名)

ご本人が署名できない場合には、ご家族などの代理人が署名してください。

(検査当日持参用)

CT検査におけるヨード造影剤使用に関する説明と同意書

埼玉メディカルセンター (旧 埼玉社会保険病院)

CT検査は、X線とコンピューターを使用して、体内の深部を観察するものです。CT検査の約半数の例で、ヨード造影剤の静脈内投与を必要とする場合があります。ヨード造影剤は検査のための薬剤で、より詳しい画像情報を得るために投与されます。

ヨード造影剤は基本的には安全な薬剤といわれていますが、一定の頻度で下記のような副作用が生じることが知られていますので、ここに書かれている事項をよくお読みの上、ヨード造影剤の使用に同意頂けるようでしたら、署名をお願いします。同意頂けない場合でも造影剤を用いなくて、可能な限り正確な診断となるような検査は施行致します。

なお、同意頂ける場合でも、病気の性質その他の医学的な理由のため、造影剤を用いない場合があることをご了承ください。また、喘息を有する場合や、以前にヨード造影剤で重篤な副作用があった場合は、原則として造影剤は使用しません。

1. 軽い副作用：悪心・嘔吐、熱感、じんま疹、かゆみ、くしゃみ

これらの副作用は、3.5%前後の頻度で起こりますが、通常に特に治療を必要とせず、検査当日でほぼ治まります。

2. 重篤な副作用：血圧低下(ショック)、息苦しさ、意識消失、腎不全、嘔声(喉頭浮腫)

発生する頻度は、0.004%(2.5万人に1人)とわずかですが、治療が必要で、さらに有害となる可能性もあります。そのような場合でも、当院では速やかな対応が可能な体制で検査を行っています。他の多くの薬剤と同様にごく稀に(0.00025%、つまり40万人に1人の頻度)死亡例の報告もありますが、当院では、今までにそのような事例はありません。

3. 遅発性副作用：頭痛、吐気、かゆみ、発疹

8%前後の方に検査後1時間から数日で発生することがあります。その際には検査医または主治医にお申し出てください。救急外来を受診することも可能です。

なお、造影剤の副作用以外にも、造影剤を血管内に注射する際に血管外に漏れることが0.3%程度(300人に1人)の頻度であり、注射した部位の腫れや痛みを伴うことがあります。通常は時間が経てば吸収されるので心配ありません。漏れた量が多い場合には、処置が必要となることもあります。

説明医師署名 _____

施設名 _____

上記事項を確認の上、ヨード造影剤使用の同意の有無をお答えください(○で囲んでください)。

ヨード造影剤使用に同意します。

はい

いいえ

平成 年 月 日

患者署名 _____ (本人・代理人)

(代理人の場合：患者氏名)

ご本人が署名できない場合には、ご家族などの代理人が署名してください。